

中国における「家庭教育・教育期待と階層」に関わる 研究を振り返る

陳 鳳*・山根 真理**

1. 問題関心

1978年に始まる改革開放政策以降、中国の経済は著しく発展してきた。それに伴い、経済格差も徐々に大きくなり、農村の貧困問題、城郷二次元発展問題¹、教育不公平といった社会問題もあらわれてきた。

1977年に大学入試試験が10年ぶりに復活してから、大学の募集定員が増大する1998年まで、多くの農民出身者は大学教育を受けることで、階層移動を実現した。この時期はまだ階層移動が容易であり、現在の中間層はその時期に農民層から移動してきた世代が多い。大学の募集定員増大前の大学卒業生は、大学入学後に国による職業の配分が行われることで農村戸籍から都市戸籍に変わった。1978-1989年の間に中国の農村居民の65%は、より高い収入階層に移動した(権, 2005)。楊らの研究によれば、農村の収入流動性は1989-1993年の期間をピークに、その後低下してきた(楊・黄, 2010)。1970年代末から1998年頃までの約20年間は、大学教育を受ければ、階層移動がスムーズに行われ、教育によって運命を変えることができた時代だったと言える。

しかし21世紀に入り、大学募集定員増大の影響で大卒人口が増加し、大学を卒業しても、必ずしもいい仕事や高収入を得ることができなくなった。この動向を象徴する事例として2000年に、「北大才子街頭売肉」(中国のトップ大学である北京大学を卒業しても、肉屋で肉を売る仕事につく卒業生がいたという意味)という新聞記事が全国でずいぶん議論された。同時に、「寒門難出貴子」²「拼爹」³「我爸是李剛」⁴「官二代、富二代、星二代」⁵といった階層性を帯びた言葉がよく使われるようになった。すなわち階層が固定化し、教育を通して階層移動及び社会的地位上昇を実現するのは難しくなってきたのである。

2009年6月5日付の「中国青年報」に「如何解讀 84 万考生弃考」という記事が掲載された。中国全国で84万人の高校生が大学入試試験を諦めてしまったことを報じたこの記事は、人々の注目を集めた。試験を諦めた高校生はほとんど農村出身の学生であり、それは大学に入っても、必ずしもいい仕事に就けないし、大学4年間にかかる費用も多いといった理由からである。中国は「読書脱貧」⁶の時代から「因教致貧」⁷の時代に入ったといえる。

本稿の目的は、以上のような状況に置かれている中国の家庭と教育を理解するための基礎作業として、中国の社会階層と「家庭教育・教育期待」に関する研究をレビューすることを通して、今後の研究課題を明確にすることである。

*愛知教育大学大学院家政教育専攻

**愛知教育大学家政教育講座

2. 収集した資料の概要

検討の対象とする論文等を収集するために、CNKI（中国知網）という、清華大学が運営する論文検索データベースを用いた。CNKI に「家庭教育と階層」というキーワードを入力して検索された論文は 1662 本、「親の教育期望」と「親の教育期待」で検索される論文は「親の教育期望」では 114 本、「親の教育期待」では 36 本であった。この中から親の立場に視点を置いた「家庭教育と階層」に関わる研究論文を選び、整理した 136 本の論文を本研究の検討対象とした。

テーマからこの 136 本の論文の研究内容を大きく分類すると、表 1 のように 6 つにまとめられる。農民工及び農民の子供に対する教育についての研究は 2000 年代から行われはじめ、2010 年代に入って論文数の伸びがみられる。少数民族と国際比較はそれぞれ 8 本、6 本である。階層の視点をもつ「家庭背景と教育・就業」についての研究も 2010 年から行われはじめ、2010 年代になって、かなり増えてきた。教育期待に関する論文は 1990 年代以前には 3 本しかなく、そこでも単に親の教育期待の意味を論じるのみで、社会階層の視点を持って行われた研究ではない。

表 1 内容分類別に見た論文数

年代 \ 内容分類	農民工 及び農民	少数民族	国際比較	家庭背景と 教育、就業	教育期待	その他
1980 年代	0	0	0	0	2	0
1990 年代	0	0	1	0	1	0
2000 年代	7	2	4	23	9	6
2010 年代 (注 1)	21	6	1	36	10	7
合計 (注 2)	29	8	6	59	22	13

注 1) 2010 年代は、2010 年から 2016 年 12 月時点で CNKI から検索された論文数である。

注 2) 複数のテーマに関わる論文は、それぞれの内容分類欄に計上した。

3. テーマ別にみた研究動向

3.1 農民工及び農民の子供に対する教育についての研究

農民工及び農民の子供に対する教育についての論文数は全部で 29 本である。表 2 にみるように、2006 年から研究がなされはじめ、2014 年以降、論文数はやや多くなっている。

「農民」は農村居住者と都市で金を稼いでいる「農民工」という二つの種類に、大きく分けられる。この中でより多く研究されているのは、都市で働いている農民工の子供に対する教育に関わる主題である。農民工は中国の産業発展と城郷二元体制の下で生まれた特殊な社会的グループである。新中国が成立した 1949 年以降、農村の人が都市に移動しないように、農村と都市に二分化した戸籍制度で厳しい管理がなされてきた。1978 年に改革開放政策が出されて以降、経済が著しく発展し、都市における産業化が進むなかで、大量の労働力が必要になってきた。しかし、1980

年代までは農民たちはまだ郷鎮企業で働いていた時代で、「離土不離郷、進場不進城」という特徴があった。1992年に行われた鄧小平の「南巡講話」⁸以降、南方特区の経済がいつそう発展していった。同年、農村から4000万人の農民が都市に移動した。農民工の都市移住に伴って、都市企業の人材コストが低下し、低コストの労働力活用を狙った外資企業が次々と中国の沿岸都市へ投資にきた。「一人っ子政策」に伴う1980年代以降の人口構造は、中国の経済発展を支える効果をもった。このような状況下で、農民工が都市の発展に大きな貢献をした。(銭, 2013)

表2 農民工及び農民の家庭教育・教育期待に関する論文数

2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
1	3	3	2	1	3	1	2	5	7	4

このようにして、1990年代に大量の農村の人が農民工として都市へ出稼ぎに行く移民現象がもたらされた。しかし、戸籍という制度の制限のため、農民工は都市戸籍をもつ人と同様の社会福祉の対象にはならない。都市で最も汚く、給料が安く、きつい仕事はほぼ、こういう農民工に任せられている。農民工の生活環境も、都市における最低レベルのものだといわれている。従って、農民工はまさに中国の最下層民の典型的な代表である。2002年の「十六大」⁹をきっかけにして、中国政府は「全面的に小康社会を建設する」という理念を謳うようになり、特に2005年10月の「十六届五中全会」¹⁰で正式に「三農問題」¹¹を提出して、農村及び農民の利益を保障する政策を出してきた。このような社会背景の下で、表2に見るように、2006年から農民工に対する研究も行われるようになった。中国は古い時代から、教育を重視する社会である。「懸梁刺骨」¹²「鑿壁借光」¹³といった言葉は、家が貧しい人が一生懸命勉強することを例えているのである。経済が発展し、国民が食べ物の心配をしなくなった新時代にあって、農民工の子供に対する教育についての研究は国の目標を達成するためにそれなりの意味を持ってきた。

対象とした論文をみると、農民と子供の教育についての研究は比較的新しい研究分野であることがわかる。文献リストの中で最も早い時期の論考は、2006年に発表された張学敏と郝風亮の「教育放棄：部分農村家庭無奈的抉択」である。施・韓(2007)、郭(2011)、羅(2015)は、主として若い農民工の、子供に対する教育期待についての研究である。羅は「新生代農民工」の教育期待と日常の教育行為の間に「ずれ」があることを指摘している。羅はこの「ずれ」の要因として農民工が不利な地位に立たされて、影響を与えられることを指摘し、家庭、社会、学校の三方面から解決しなければならないと指摘している。(羅, 2015) 施・韓は「80後」農民工は子供に対する教育期待が高いことを指摘した。(施・韓, 2007) 郭は、「新生代農民工」は子供に対する教育支出は比較的高く子供の高学歴を期待しているが、現実に存在する不利がその期待の実現を制限していると指摘した。(郭, 2007) 「流動児童」の教育問題についての研究も多い。流動児童と

は、農民工が子供を都市に連れて行き、都市の学校で教育を受けている子供のことである。流動児童が都市の学校に入学する際、さまざまな制限がある。蘆・梁・侯(2015)、龔・鐘(2015)は、流動児童についての研究である。蘆らは「流動児童の教育与階層再生産」において、現在の流動児童が置かれている社会背景、家庭背景の下では「教育は都市と農村の隙間に挟まれている流動児童にとって、階級再生産の道具であって、階層向上の梯子ではない」ということを指摘した。(蘆・梁・侯, 2015) 龔らは、流動児童は都市地元の児童と比べると、家庭教育の主観的な行為はたいした差異は無いが、家庭教育の内容、教育投入、教育方式といった方面で明らかな差異が存在していると指摘し、あわせて立法という手段で社会支持システムを構築して、児童の家庭背景の差異を消すという解決案も提案した。(龔・鐘, 2015) 楊は「流動児童家庭教育期望的影響因素探析—基与北京市の問卷調査」において、親の教育期待は家庭の経済条件とあまり関係がなく、児童の成績、親の学歴及び親が家庭教育を重視する程度、親の学歴の重要性認識といった家庭の文化背景と親の社会態度は親の教育期待に与える主要な要素であるということ、加えて父親と母親の教育期待が違うということも指摘した。(楊, 2012) このように、農民工の子供に対する教育に関する研究は、高い期待と現実の社会的制限という矛盾を指摘するものが多い。このような問題を解決するために、社会からの助けが必要になると考えられる。

3.2 少数民族の家庭教育、教育期待についての研究

中国は56民族からなる多民族国家であり、民族によって、飲食、風俗などが異なる。社会科学分野の研究においても、少数民族研究が一分野として存在する。今回検索した文献の中で新疆ウイグル族、チベット族、黎族といった少数民族の、家庭教育と教育期待についての研究があった。文献本数は12本である。総じて少数民族も漢族の親と同じように、子供に対して、高い教育期待をしているという研究が多いが、呂らの論考にみるように少数民族の中の階層的差異に注目し、親の職業階層が低いほど、子供の教育期待がかえって高いと指摘する研究もある。(呂・刘・张, 2011) 宁・朱、侯の論考にみるように、親の学歴や家庭背景が子供の教育機会や学習動機などに影響を与えていることを指摘する研究もある。(宁・朱, 2010、侯, 2015)

3.3 国際比較についての研究

経済のグローバル化に伴って、中国の人々の視野も海外に広がり、研究においても国際比較がよく行われるようになった。検討対象とした文献においては国際比較研究の論文は6本ある。比較対象としている国はアメリカ、ベトナム、日本、韓国・日本である。総じてアジア内の比較が多い、特に中国・日本・韓国の東アジア三カ国間の比較研究が多い。例えば、馬・周、周・馬・青の研究では、三カ国の親は子供の成長に対して大いに期待しているが、期待する具体的な面が国によって違うということも指摘している。(馬・周, 2005、周・馬・青, 2006) 方は中国の北京とアメリカのシカゴで行った調査に基づき、北京の子供の数学の成績はシカゴの子供より良く、中

米の親の教育方法、教師の教え方が異なることを指摘した。(方, 2001) 郭らは中国とベトナムで行った質問紙調査に基づき、いずれの文化でも、親の考え方に対する生徒の理解は必ずしも一致していないと指摘している。(郭・杜, 2016)

3.4 家庭背景と教育、就業についての研究

中国は21世紀に入って、経済の格差が徐々に顕在化するようになったが、特にこの10年間で、物価や不動産が右肩上がりになっていくのに伴って、格差がいっそう拡大した。従って階層と教育を結びつける研究は中国において新しい研究視点だと言える。図1を見ると、「家庭背景と教育、就業」に関する研究は2000年代には23本の論文があり、2010年代には36本ある。

文献の内容から見れば、家庭背景が教育機会と社会地位の取得に与える影響についての研究が主流である。張は、親の学歴と社会地位が高ければ子供の学歴と社会地位が高く、同時に初職の地位にも影響を与えていると指摘している。(張, 2010) 宋は、階層が高い親はさまざまな社会資源を持ち、子供が高等教育を受ける機会に影響を与えていると指摘している。(宋, 2009) 王はインタビュー調査と質問紙調査を通して、階層が低い学生は高等教育の起点にしても、過程にしても、結果にしても不公平を被っていて、階層固定化と階層再生産を表しているということを指摘している。(王, 2012) 林は、階層の格差は大学定員拡大で縮小することはなく、階層地位の再生産は直接・間接的に作動していると指摘した。(林, 2012) 袁(2007)、楊(2015)、沈・趙(2015)、沈・張(2015)、張(2015)、譚(2015)、卢(2012)、蔡・伍(2014)、楊(2011)、宋(2009)、陳・沈(2016)、馬・方・雷(2016)の研究も家庭背景は階層が低い人にとって、階層移動に不利に働くことを示している。これら一連の研究が示唆するのは、家庭背景は階層再生産の道具だということ、下層の人にとっては階層移動の手段としての教育の働きはますます弱くなってきていること、教育の有利さはますます階層の高い人に傾いていることである。

教育支出や教育消費の階層による差に関する研究もある。例えば曾(2008)は、家庭教育支出の差異は主に学校外の教育支出にあること、特に学校選択にかかる費用と塾にかかる費用は階層差が大きいこと、学校に払う費用に差異は無いが、収入が低い人にとって家計負担はまだ重いことを指摘した。陶(2013)は、質問紙調査を通して親の学歴、収入、職業によって子供の基本的な支出、拡大的な支出、選択的な支出が異なること、収入が低い家庭にとって子供の教育支出は多くはないが家庭の収入に占める比が大きいものに対して、収入が高い家庭にとって子供の教育支出の金額は多いが収入に占める比が小さいことを指摘した。秦(2005)は、階層は教育消費のレベル、教育消費の構成に影響を与えており、そのことが教育の不公平をもたらし、階層の再生産に結びついていくことを指摘した。呂(2015)、楚・趙(2006)もまた、階層によって家庭教育支出が異なり、教育不公平、階層再生産をもたらしていることを指摘している。

このように、家庭背景は子供の就学、就業に大きな影響を与えている。階層再生産に繋がる不公平な結果をもたらす一つの原因だといえる。

3.5 教育期待についての研究

教育期待の現状と合理的な期待に関する研究は全部で 22 本である。「家長的期待意味着什么?——深圳特区幼儿教师对其子女期待的调查分析」(張, 1987) は、検討対象とした文献中で一番早く親の教育期待について述べた研究であった。この論文では親の学歴、子供の性別、子供の数といった要素が親の教育期待に影響を与えていること、娘よりも息子に対する教育期待が高いという中国の伝統的な考え方が現れていることが指摘されている。謝 (2009) はドキュメント分析、質問紙調査、半構造化インタビューといった研究方法を用いて、二つの世代の「家長」が幼児に対して持つ学歴期待、職業期待はほとんど一致していること、教育内容と教育支出の上で差異が見られることを指摘した。宋・王 (2005) は、教育価値を統一するために、親たちは子供の能力に応じて、適切で科学的な教育期待をしなければならないと指摘した。朱 (2011) は、経済が発達している浙江省の温州における私営企業主を対象にして、インタビューと参与観察という質的実証調査を行い、私営企業主が子女に対する教育期待の理由を個人、グループ、社会三つの方面から分析した。同論文において朱は、P.ブルデューの三つの資本の転換図式によって教育機会、教育過程、教育結果という教育の三段階と結びつく教育行動を説明することで、私営企業主がどのように教育を階層再生産の手段として使っているかを説明している。

王 (2011) は、「期望共鸣区」¹⁴は親、子供、社会による子供の成長と未来に対する期待であるから、家庭教育が人間性を涵養する重要な意味を持っていると指摘した。谷・楊 (2013) は実証調査を通して、家庭収入と家庭期待は教育支出に大きな影響を与えていること、さらに親が子供に対して持つ期待は自分の学歴と正の関係があることを指摘した。王 (1997) は、現代家庭教育の中で、親が子供の実際の能力を問わず子供に期待しすぎていることを指摘し、「急がばまわれ」という趣旨の提案を行っている。卢 (2000) は、親が子供に対して持つ合理的な期待は子供の成長に良いことを指摘し、期待の積極的な諸側面を子供の成長に生かす提言を行う研究であった。王 (2013)、高 (2005) もまた、親が子供の実際に合わせる合理的な教育期待についての研究であった。

3.6 その他

その他に分類された論文の中にも、一人っ子の家庭教育 (李, 2007)、高考 (大学入試) を諦めること (紀・文, 2009)、エリート教育システムが階層移動にもたらす悪影響 (王・楊, 2016)、家庭教育が直面した挑戦などの社会現象に着目して、家庭教育、学校選択などについて階層移動の視点をもって考察した論文がみられる。

4. 研究方法

本稿で検討の対象とした文献を研究方法で見ると、実証調査が多く、その中で量的実証調査は

質的実証調査よりはるかに数が多い。表3に示すように質問紙調査の中で見ると1次調査に基づく論文は71本、2次分析に基づく論文は14本あり、合計85本の論文が質問紙調査に基づくものである。質的実証調査の中ではインタビューがよく用いられる方法であり、インタビューに基づく論文が28本である。質問紙調査とインタビューを併用した修士論文は多い。(谢, 2008、张, 2013、卢, 2015、谢, 2009、刘, 2014、李, 2011)

表3 実証研究の研究方法別にみた論文数

量的実証調査		質的実証調査		
質問紙調査		非参与観察	インタビュー	参与観察
1次調査	2次分析			
71	14	3	28	3

注) 複数の研究方法を採用した論文については、それぞれの欄に計上した。

5. 研究理論

検討対象とした文献が依拠する研究理論という観点で見たとき、フランスの社会学者、P.ブルデューの文化再生産論が最も多く使われている。(吕・刘・张, 2011、朱, 2011、宋, 2012、卢・梁, 2015、宋, 2009、王, 2016、侯, 2015、王, 2012、吴, 2012、李, 2009、杨, 2015、李, 2006、封, 2014) 中国の研究動向において、ブルデューの理論は小中学校や高校、大学への入学機会という教育上の不平等に関連づける研究が多いと言えそうである。また、農村の家庭教育の研究においても、ブルデュー理論はよく使われている。

次いで、G.S.ベッカーの人的資本論を用いる研究も多い。資本とは投資によってその価値を増大させることのできる財貨であるが、この考え方を投資対象としての人間に適用したものが「人的資本」の概念である。すなわち、人間の経済的価値を投資によって高めることができるという考え方である。中国の親の、子供の教育への投資を通して、将来子供が高い社会地位を得て、より多くの収益が得られるという考え方は、ベッカーの人的資本論と親和性があると考えられる。例えば张 (2013) は、親が子供の教育に投資するのは将来、より大きな収益が期待されるからだと言った。谷・杨 (2013) は、中国では教育公財政支出対 GDP の比率は世界の平均値を下回っており、足りない部分は全部家庭で補っていると述べ、改革開放以後、30年間の間にエリート教育から大衆化教育になったこともこの理論で説明できると論じている。

アメリカの社会学者の J.S.コールマンの社会関係資本論を中国の家庭教育に援用する研究も多い。人間関係の豊かさこそが社会資本として使われているということである。社会関係資本とは人脈のことである。中国は人脈社会だから、子供の教育に親は自分の社会関係資本を限りなく使っているといえる。刘・张・李 (2015)、沈・张 (2015)、吴・陈 (2013)、李 (2009)、高 (2010) らの研究の中で社会関係資本論が使われている。

P.M.ブラウ&O.D.ダンカンの「地位達成モデル」を援用する研究も少なくない。父親の学歴や職業上の地位は子供の教育を通して、子供の初職と今の職業の地位に影響を与えているという理論である。中国の研究者はブラウ&ダンカンの「地位達成モデル」に「期待」という社会心理的な因子を入れて、少し修正したモデルによって家庭における教育期待の階層差を説明した。例えば張は「家庭背景对人们教育和社会阶层地位获得的影响」において、親の学歴と社会的地位が高ければ高いほど、子供の学歴と将来の社会的地位が高いこと、親は子供が大学を卒業する時、自分のすべての資源を使って子供を助け、よりいい初職に就かせようとするを指摘している。(張, 2010) つまり、1999年以後の大学募集増員が上層社会の人にもたらす利益は下層の人よりはるかに多いということがわかる。

このほか、T.パーソンズの構造機能主義理論、S.R.ルーカスのEMI(Effectively Maintained Inequality)やMMI(Maximally Maintained Inequality)概念なども中国の家庭教育と階層に関する研究に援用されている。

6. 要約と展望

以上の先行研究を総じて見ると、農村居住者や都市に住む「農民工」を対象とする研究が多い。つまり、階層の視点から見れば、下層の人の子供の教育に対する研究が多い。農民工は改革開放後の社会変動を考えるうえで重要な社会的グループであることは確かであり、農村出身者の教育問題は注目に値する問題である。しかし、中国が著しく経済発展を遂げるとともに、中間層の人口もかなり多くなってきた。中間層は社会の安定を維持する上で大きな役割を果たしていると考えられる。このようなグループの親の子供に対する教育についての研究は、現在中国政府が掲げる「和諧社会を作る」という目標の実現にとって重要だと考えられる。

研究理論に関しては、フランスの社会学者、ブルデューの再生産論が最も多く使われている。ブルデューの再生産論をそのまま中国の現状理解に応用できるか、検討する必要がある。フランスの近代化以降の社会階層形成と固定化現象と比べて、中国社会における近代的な社会階層形成の歴史は短い。「圧縮的近代」と見ることができ中国における、多様な中間層にどうアプローチするかを検討しなければならない。また、ブルデューの文化再生産論は、下層の人は上の階層の人に比べて不利な地位が再生産されることを論じている。学歴階層に注目すれば、親の学歴が高いほど子供の教育に有利だと考えられるが、中国における子育ての現状から見ると、祖父母が実質的な子育てを担うことが多い。高学歴の親であっても、子供と接する時間は短く、日常の相互作用を通して親の文化資本を子供に継がせることが難しい面があると考えられる。

加えて、「家庭教育・教育期待と階層」に関するこれまでの研究は、親の学歴や収入によって家庭教育・教育期待のあり方がどう異なるかを明らかにしようとした研究が多い。階層分析を行っているが、そこに止まっていて社会的な提案と結びつけていない。例えば教育制度や政策が子供の教育にもたらす不平等など、「社会階層と家庭教育の関連」を超え、制度・政策論とも連動した、

より広い視野を持った研究が展開されていくことが期待される。

註

- 1) 中国は社会構造において都市と農村に分けられ、異なる社会制度やシステムによって管理されている。「城郷差別」「二次元社会構造」とも呼ばれている。戸籍をはじめ、住宅、教育、医療、就職、労働保障、婚姻などにおいても農村の人は都市の人と同様の社会福祉の対象にはならない、差別的な社会システムである。
- 2) 汚い溝川から竜が飛びたつことはできないという意味である。
- 3) 今の子供は進学でも就職でも不動産購入でも、自分の能力ではなく親世代の能力によるという意味である。
- 4) 2010年10月16日、河北大学新区にあるスーパーの前で、ある黒い車が女子学生二人にぶつかり、その後運転手は停車せずに逃げようとした。その際、警備に止められたが、「私の父は李剛である。能力があったら、訴えてください」と、悪びれること無く言い切った。李剛は河北省保定市のある公安局の副局長であった。運転手は李剛の息子である。それ以来、この言葉は「官二代」を皮肉るときによく使われている。
- 5) 公務員の管理職、富者、俳優やスターの子世代であること。頑張らなくても裕福な生活を送ることができる。
- 6) 教育を通して貧困から脱し、豊かな生活を送るようになるという考え方である。
- 7) 今日の中国では親たちが子供の教育にかかる費用が多い。子供が教育を受けることによって家族の生活水準が下がったり、借金したりして、貧困状態になるという意味である。
- 8) 1992年1月18日から2月21日まで鄧小平は中国の武昌、深圳、珠海、上海といった南にある都市を下見した時、重要なスピーチをした。このスピーチは90年代の経済の発展に推進するのに重要な働きをした。
- 9) 2002年11月8日から14日まで北京で行われた中国共産党第16回全国代表大会のことである。この会議で「全面的に小康社会を建築する」という目標が立てられた。
- 10) 2005年10月8日から11日まで北京で行われた中国共産党第16回全国代表大会第五次中央委員会全体会議のことである。
- 11) 農業、農村、農民といった「農」に関する三つの問題であって、胡錦濤政権の下で施政がなされた内容である。これは従事職業、居住地域、主体身分という「三位一体」の問題である。
- 12) 「懸梁」は、東漢時代の孫敬という人が勉強をするとき、居眠りをしないように自分の髪を紐で天井に縛り、居眠りして頭が下がると髪の毛が引っ張られるから、すぐ目が覚めて勉強を続けられるようにしたこと由来する言葉である。この人は有名な政治家になった。「刺骨」は中国の戦国時代の孫秦という人がよく深夜まで勉強をして、居眠りしたとき、用意しておいた錐で股を刺して勉強を続けた故事に由来する言葉である。
- 13) 中国の西漢時代に匡衡という貧農の子供が壁に穴を掘り、隣家の灯りを利用し本を読んだという故事である。
- 14) 家庭を舞台にして、子供の個性、主観条件、主観的な考え方及び社会が若者に対する要求に応じて子供に教育を与えることで、親、子供自身、社会が子供に対する共通した期待を実現する。

参考文献

陈敏, 2015, 『家庭财富转移对下一代劳动收入的影响机制研究』浙江大学修士論文。

陈琳・沈馨, 2016, 「父代关系与代际收入流动: 基于教育和就业的视角」『南方经济』2016年05期, 34-45。

- 陈国华,2009,「择校的教育社会学分析」『湖北成人教育学院学报』2009年06期,1-3.
- 蔡文伯·伍开文,2014,「家庭背景对高等教育入学机会的影响—基于新疆的实证研究」『教育科学』2014年04期,55-61.
- 方格·田学红·H.W.Stevenson,S.L.Rogala,2001,「中美幼儿认知成绩与家长对教育的期望」『第九届全国心理学学术会议文摘选集』,106.
- 封绚,2014,「父辈社会分层对子代高等教育机会分配的影响研究—以云南少数民族地区为例」『玉溪师范学院学报』2014年05期,61-65.
- 郭学福,2011,「新生代农民工对子女受教育期望探析—以朝阳村外来务工群体为例」『2011年贵州省社会科学学术年会论文集』,103-107.
- 郭泽汗·杜琳娜,2016,「中越家长教育期望比较研究」『牡丹江师范学院学报(哲学社会科学版)』2016年04期,130-134.
- 郭涛·王伟宜,2007,「不同社会阶层子女高等教育机会差异研究」『理论导刊』2007年07期,84-86.
- 龚继红·钟涨宝,2015,「流动儿童与城市本地儿童的家庭教育差异及影响因素—基于武汉市853份样本的分析」『学习与实践』2015年03期,106-114.
- 高亮亮,2010,『新疆高等教育入学机会均等研究—以新疆师范大学为个案』新疆师范大学学士论文.
- 纪渝洪·文沛霖,2009,「我们为什么放弃高考」『课堂内外(高中版)』2009年06期,16-23.
- 罗晓明,2015,『新生代农民工对子女教育期望的质性研究』南京师范大学学士论文.
- 卢瑛,2015,『学前听障儿童家长教育期望的调查研究』辽宁师范大学学士论文.
- 吕国光·刘伟民·张燕,2011,「父辈社会分层对子代教育期望的影响研究—以藏族小学生及家长为例」『宁波大学学报(教育科学版)』2011年05期,73-78.
- 刘晓燕,2014,『农村学前儿童家长教育价值观研究—以广西南宁市T村为例』广西师范大学学士论文.
- 刘守义·刘佳君,2010,「农村家庭子女数量对家庭教育投资目的与期望的影响研究」『河北北方学院学报(社会科学版)』2010年01期,57-59.
- 刘保中·张月云·李建新,2014,「社会经济地位、文化观念与家庭教育期望」『青年研究』2014年06期,46-55,92.
- 刘保中·张月云·李建新,2015,「家庭社会经济地位与青少年教育期望:父母参与的中介作用」『北京大学教育评论』2015年03期,158-176,192.
- 卢秀琼,2000,「期望效应与儿童家庭教育」『涪陵师专学报』2000年02期,49-51.
- 李媛,2011,『进京农民工对其3-6岁子女的教育期望的个案研究』首都师范大学学士论文.
- 卢晖临·梁艳·侯郁聪,2015,「流动儿童的教育与阶级再生产」『山东社会科学』2015年03期,79-87.
- 李留东,2011,『浙江省专业运动员家庭社会阶层背景与社会流动路径研究』上海体育学院博士学位论文.
- 林卉,2012,『高等教育机会获得的阶层差异研究—中国大陆教育扩张的考察』清华大学学士论文.
- 李裕平,2009,『农村家庭阶层的教育选择研究—以甘肃省天水市Z镇为个案』西北师范大学学士论文.
- 吕超,2015,『城镇居民收入差距对教育投资的影响』北京交通大学学士论文.
- 李煜,2006,「制度变迁与教育不平等的产生机制—中国城市子女的教育获得(1966-2003)」『中国社会科学』2006年04期,97-109,207.

- 李力,2007,『独生子女父母家庭教育与子女成长研究—基于汉川市独生子女父母调查』华中师范大学学士論文.
- 林莞娟·张戈,2015,「教育的代际流动:来自中国学制改革的证据」『北京师范大学学报(社会科学版)』2015年02期,118-129.
- 刘宏伟·刘元芳,2013,「高等教育助推阶层固化的社会资本分析」『高教探索』2013年04期,124-127.
- 卢昊,2012,「家庭背景对高等教育获得及规划的影响」『当代教育理论与实践』2012年08期,30-33.
- 骆风,2009,「家庭教育要素中何者较高?—来自澳门中小學生家庭教育的实证研究」『上海教育科研』2009年10期,63-66.
- 李国强,2009,「家庭社会资本:家校合作的重要影响因素」『中国教育学刊』2009年11期,21-24.
- 马小凤·周爱保,2005,「家长对幼儿教育的期待:中、日、韩三国之比较」『第十届全国心理学学术大会论文集』,389-390.
- 马良·方行明·雷震,2016,「父母的政治资本和人力资本对子女深造意愿的影响及传导机制—基于中介效应和调节效应的分析」『教育与经济』2016年03期,83-90.
- 宁盛卫·朱克良,2010,「黎族家长的教育期望与子女学习动机关系之研究」『大家』2010年10期,199.
- 秦阿琳,2005,『社会分层对教育消费的影响研究—一个消费社会学的分析视角』湖南师范大学学士論文.
- 钱国英·唐丽静,2009,「城市义务教育阶段学生参加课外补习机率的影响因素分析—基于武汉、深圳的调查」『教育财会研究』2009年03期,9-12.
- 錢凱,2013,『農民工对我國經濟增長貢獻的实证研究』安徽大学学士論文.
- 權衡,2005,「居民收入流动性与收入不平等的有效緩解」『上海經濟研究』2005年03期,19-25.
- 施芳·韩璐,2007,「近四成“80后”农民工望子成“博”」『人民日报』第11版.
- 宋阳,2012,『家庭背景、父母期望与子女高中教育获得性别差异』南京大学学士論文.
- 宋保忠·蔡小明·杨珏玲,2003,「家长期望教育价值的思考与探索」『唐都学刊』2003年03期,153-156.
- 宋保忠·王平川,2005,「根据教育价值构建科学的家长期望」『西安文理学院学报(社会科学版)』2005年05期,105-108.
- 宋红霞,2009,「家庭社会阶层影响高等教育机会均等的现状与原因分析」『济源职业技术学院学报』2009年03期,12-14,106.
- 沈瑞英·赵志远,2015,「城市居民家庭背景对子女社会地位获得的影响研究」『前沿』2015年02期,121-125.
- 沈艳·张恺,2015,「家庭背景对我国高等教育入学机会的影响—基于2013届高校毕业生调查的实证分析」『教育学术月刊』2015年05期,30-36.
- 陶维维,2013,『家庭教育消费的阶层差异调查研究—教育致贫现象的窥视』南京师范大学学士論文.
- 譚远发,2015,「父母政治资本如何影响子女工资溢价:“拼爹”还是“拼搏”?」『管理世界』2015年03期,22-33.
- 王甫勤·时怡雯,2014,「家庭背景、教育期望与大学教育获得基于上海市调查数据的实证研究」『社会』2014年01期,175-195.
- 王平川,2011,「家庭教育的“期望共鸣区”建构研究」『陕西教育学院学报』2011年03期,5-8.
- 王颖,1997,「论家庭教育中的过度期望」『阴山学刊』1997年03期,92-97.
- 王凤英,2013,「谈家庭教育与对孩子期望度的有机结合」『兵团教育学院学报』2013年03期,82-84.
- 王效柳,2016,『农村家庭教育选择的影响因素研究—以肥东县三所中学为例』安徽大学学士論文.
- 王敏宜·2012,『家庭社会分层与高等教育公平的实证研究—以S高校为个案』陕西师范大学学士論文.

- 王学龙·杨文,2016,「精英主义教育体系对代际流动的消极影响」『经济经纬』2016年04期,115-120.
- 王萍,2013,「社会转型期家庭教育面临的新挑战」『教育探索』2013年11期,10-12.
- 王莹,2009,「论阶层差异与教育分流」『合作经济与科技』2009年10期,59-60.
- 吴愈晓,2013,「教育分流体制与中国的教育分层(1978-2008)」『社会学研究』2013年04期,179-202,145-146.
- 吴次南·陈卫洪,2013,「高考中社会资本的作用力及其运行机制—高考与社会资本关系的实证分析」『教育学术月刊』2013年05期,3-6.
- 吴大鹏,2012,『中学特长生家庭背景的调查研究—基于布迪厄资本理论的分析视角』南京师范大学.
- 谢雅芳,2008,『上海城乡结合部公办园家长对其子女教育的需求研究』华东师范大学修士論文.
- 谢德蓉,2009,『新老两代家长对幼儿期望的比较研究—以上海为例』华东师范大学修士論文.
- 杨威,2012,「流动儿童家庭教育期望的影响因素探析—基于北京市某区的问卷调查」『西北人口』2012年02期,98-102.
- 杨俊·黄瀟,2010,「中国收入流动再探討」『統計研究』第27卷第11期,24-33.
- 杨艳菊,2015,『家庭财富与基础教育阶段教育获得—基于上海 PISA2012 数据的实证分析』上海社会科学院修士論文.
- 杨倩,2011,「家庭背景对高等教育入学机会的影响」『现代教育管理』2011年07期,22-24.
- 袁卫红,2007,『河南省不同社会阶层子女高中阶段教育入学机会差异的初步探讨』厦门大学修士論文.
- 张瑞瑞,2015,「低收入农民工家长对学前子女教育期待的研究」『北京教育学院学报』2015年06期,30-36.
- 张彦玲,1987,「家长的期待意味着什么?—深圳特区幼儿教师对其子女期待的调查分析」『心理发展与教育』1987年02期,51-55.
- 张明磊,2013,『80后”父母对学前阶段子女的教育期望研究』西北师范大学修士論文.
- 张小莉,2015,「高等教育机会获得的影响因素研究—基于 CGSS2006 数据」『郑州航空工业管理学院学报』2015年02期,127-132.
- 张翼,2010,「家庭背景对人们教育和社会阶层地位获得的影响」『广州大学学报(社会科学版)』2010年10期,27-38.
- 周爱保·陈斌·青柳肇,2007,「幼儿做事能力的发展与家长的教育期望—中日韩跨文化比较研究」『幼儿教育(教育科学版)』2007年05期49-52.
- 周爱保·马小凤·青柳肇,2006,「家长对幼儿教育的期望:中、日、韩三国之比较」『学前教育研究』2006年04期,60-62.
- 朱垣,2011,『私营企业主对子女的教育期望及行动策略研究—以温州为例』华东师范大学修士論文.
- 曾晓东,2008,「家庭教育支出的阶层差异及其社会意义」『教育学报』2008年06期,80-86.

付記

本稿は陳の修士論文の予備的考察として書かれたものである。文献の収集と整理、論考の執筆は全て陳が行い、山根は指導教員としての助言を行った。なお、文献リストに掲載した論文は全て CNKI によって検索したものであり、本来は URL を示すべきであるが、頁数の制限のため、本稿においては URL は省略する。